



脊椎固定用具の機械的安全性評価

椎体後方に設置する脊椎固定用具の静的および疲労試験を実施いたします。

測定技術の概要

脊柱管狭窄症などの治療のために椎体後方に設置する椎体固定用具(棘突起間スペーサー)の各種力学的安全性を評価いたします。

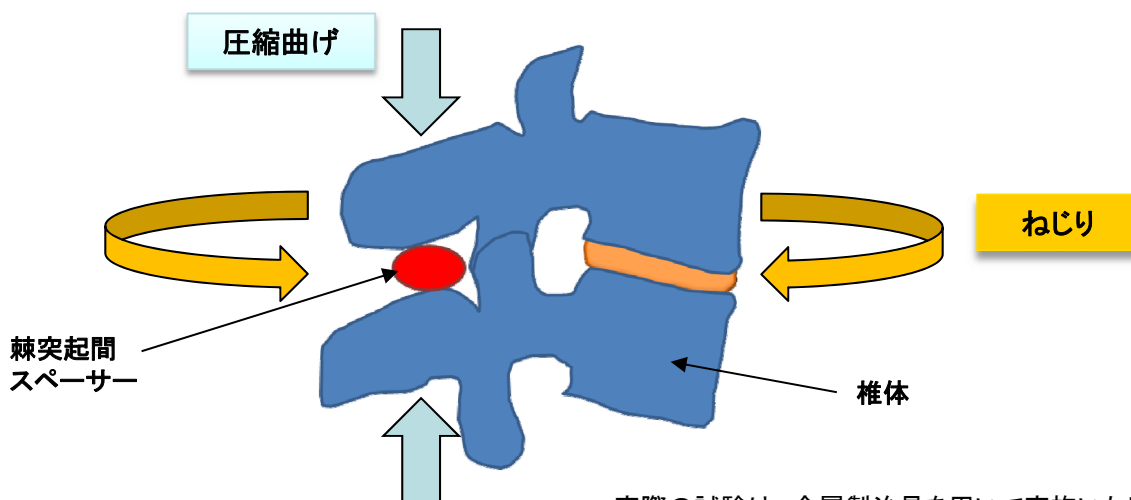
【試験概要】

対応するASTM規格	ASTM F2624 “Standard Test Method for Static, Dynamic, and Wear Assessment of Extra-Discal Single Level Spinal Constructs”
試験環境	常温・大気中、37°C生理食塩水中
試験方法	静的圧縮曲げ試験、静的ねじり試験 動的圧縮曲げ試験、動的ねじり試験

磨耗試験等についても、ご相談ください。

各種試験方法

試験方法	静的圧縮曲げ試験	試験方法	動的圧縮曲げ試験 動的ねじり試験
荷重付与速度	25 mm/分以下	周波数	2 Hz 以下 (樹脂製) 5 Hz 以下 (金属製)
測定項目	荷重-変位曲線、降伏荷重、降伏変位、最大荷重、最大変位、弾性変位、剛性	測定項目	荷重-繰り返し数図 500万回耐久限 (固定型) 1000万回耐久限 (可動型)
試験方法	静的ねじり試験		
トルク付与速度	60°/分以下		
測定項目	トルク-角度変位曲線、降伏トルク、降伏角度変位、最大トルク、最大角度変位、弾性角度変位、剛性		



実際の試験は、金属製治具を用いて実施いたします。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

☎ 0120-643-777

Copyright ©2017 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。